

## 簡単な文章作成には・・・「メモ帳」がおすすめ

文章を作成するのは「ワープロ」ソフトだと考えて、ちょっとした文章を作成する場合も Microsoft Word や Excell を使っている方がいます。もちろんそれでも間違いではありませんが・・・

でも、ちょっと考えをまとめたかったり、簡単な議事録やメモ程度の文章を残したいといった場合に「ワープロ」は『不要な機能』が多すぎて、ソフトを起動するだけで時間がかかったりします。「ワード」はパソコン初心者にはちょっと敷居が高いようですし、エクセルでは、見づらいです。

そんなときは「テキストエディタ」と呼ばれる、文書作成だけに必要な機能に絞ったソフトを使ってみましょう。Windows に「アクセサリ」として標準付属している「メモ帳」も立派な「テキストエディタ」です。

文章を作成するときに文章を綴るだけでなく、フォントの種類や文字サイズ、レイアウトまで加工して (= process) 保存や印刷できるソフトが「ワープロ (word processor)」です。

一方、文字 (テキスト) のみのファイルを使って、純粹に文章だけを作成し、練り上げる (編集する) ソフトを「テキストエディター」と呼びます。一般的に「エディター」= 「テキストエディター」です。(「編集する」という英語は動詞で「エディット (edit)」です)

ただ、「メモ帳」は、本当に最低限の機能しかないので、物足りなくなったら「多機能テキストエディタ」と呼ばれるより文章が編集しやすいソフトがあるので、利用を検討してみてもいいでしょう。

有名なものには「秀丸エディタ」「EmEditor」などがあります。どちらも (有料：現在、4,200 円・税込み) ですが、無料の「TeraPad」もあります。

『メモ帳』にはない、多くの機能を備えています。「窓の杜」から入手できます。

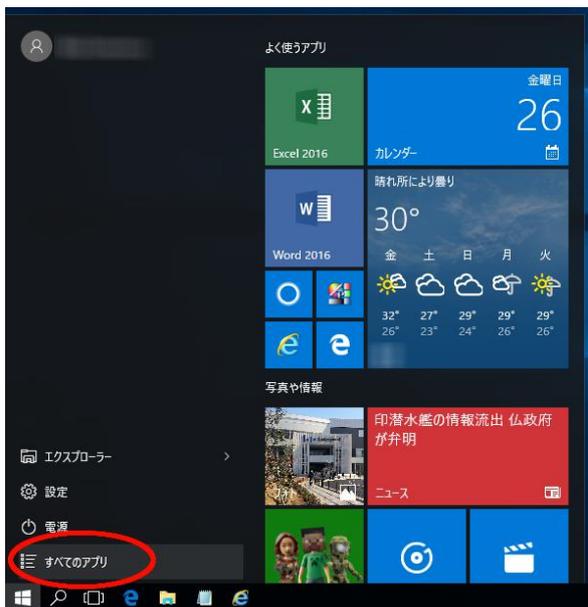
最初は「テキストエディタ」で文章を作成し、編集したり印刷するときは、必要に応じてワープロソフトに完成した文章をコピー＆貼り付けで「流し込む」というのも賢い使い方です。

このように「ワープロ」と「エディター」を目的や状況によって使い分けられるようになれば、パソコンの作業効率もグッと上がります。

ソフトも『適材適所』です。

## 「メモ帳」の開き方（Windows 10 の場合）

- (1) 左下の「スタートボタン」をクリックします。
- (2) スタートメニューの「すべてのアプリ」をクリック。（赤丸）※



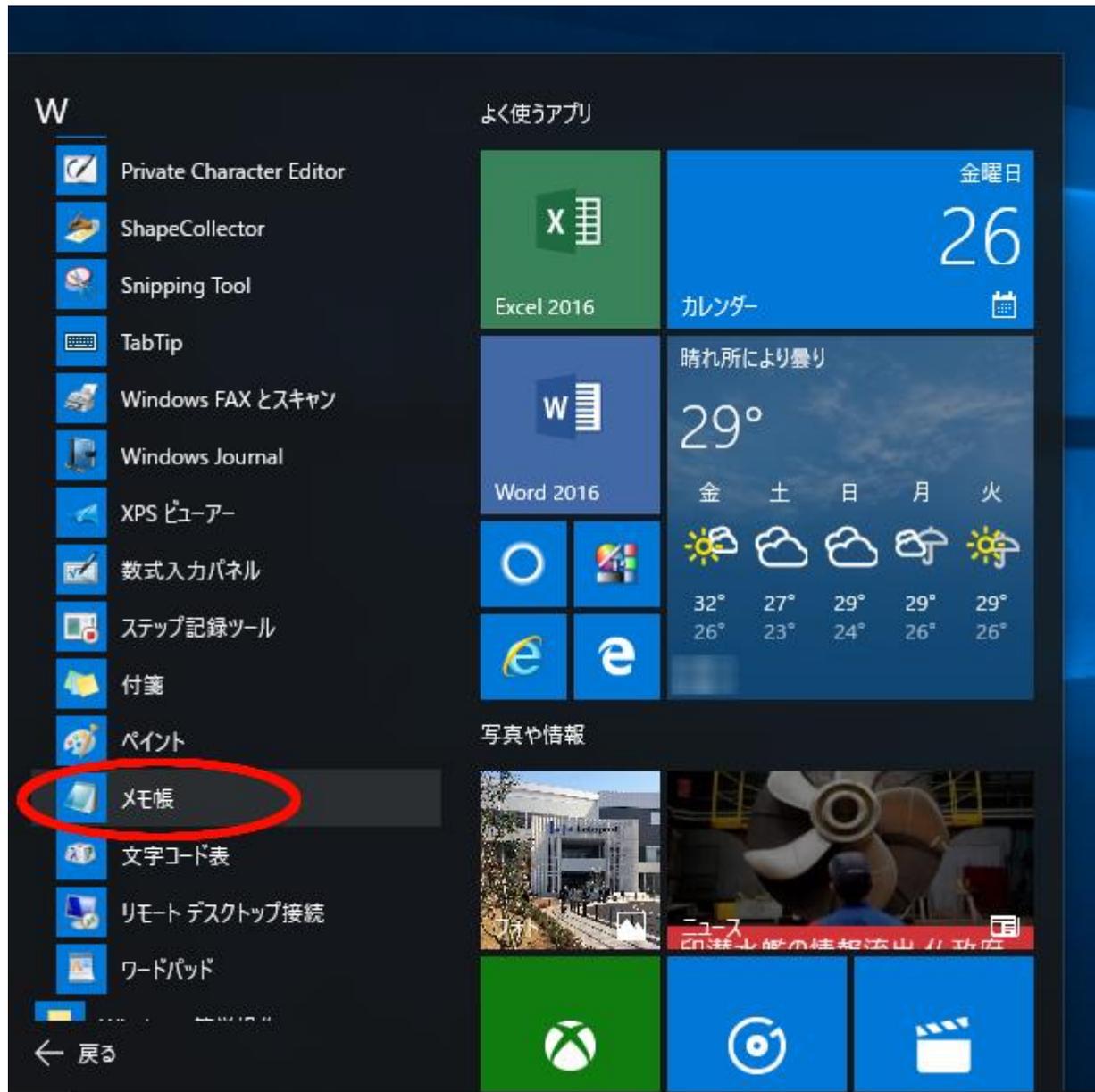
※Windows 10 のアニバーサリーアップデート後は、スタートメニュー内の表示が少し変わり、スタートメニューを開くと「すべてのアプリ」内が表示された状態になっています。

「すべてのアプリ」が表示されている方は、ここは飛ばして（3）へ進んでください

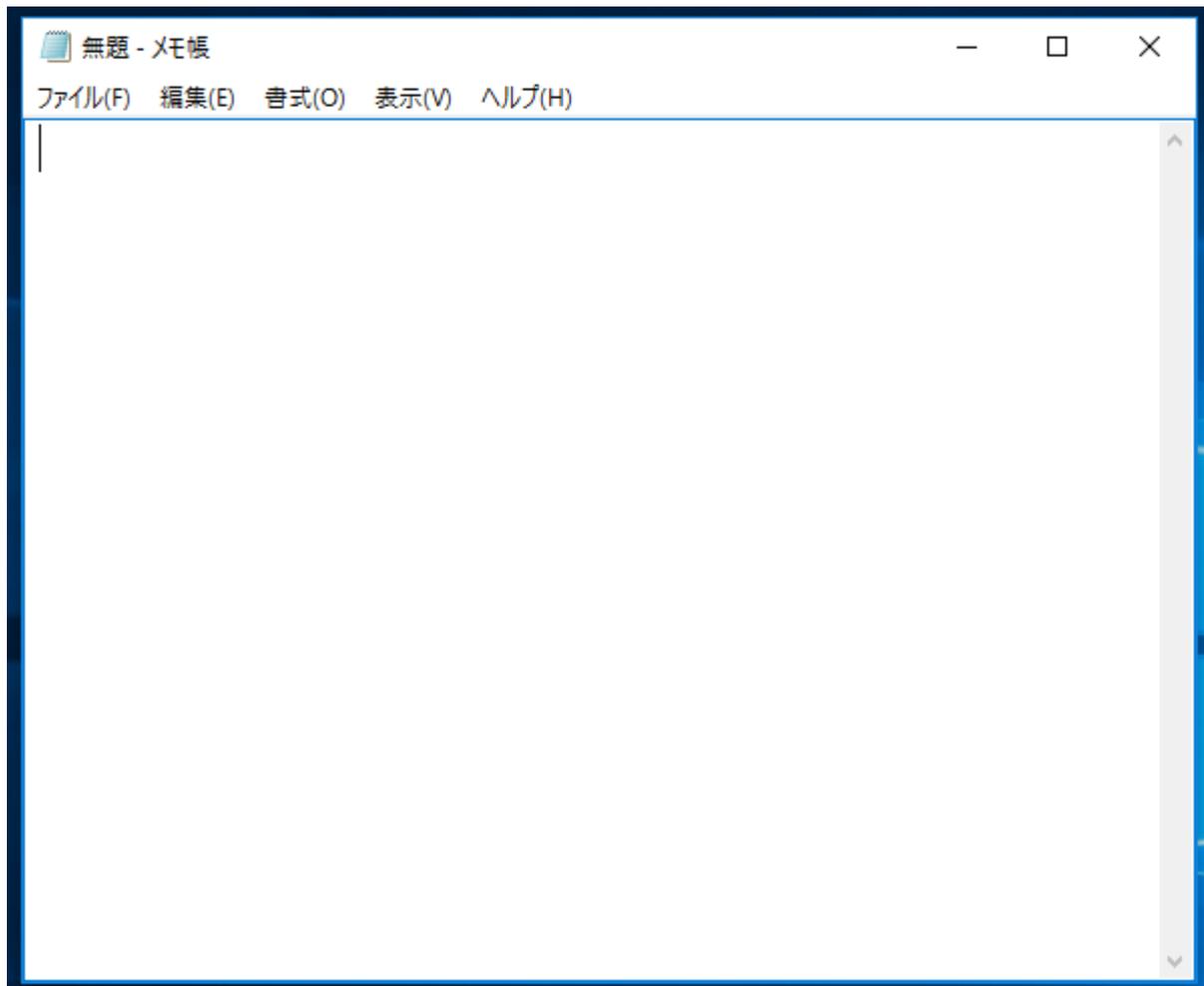
- (3) アルファベット順にアプリなどの名前が表示されていますので、スクロールして「W」を探し、その中にある「Windows アクセサリ」をクリックします。（赤丸）



(4) クリックすると、その中に入っているいろいろなアプリがずらーっと出てきますので、「メモ帳」をクリックします。



(5) メモ帳が開きました。



※参考までに…

ほかの OS での場所は

” Windows 7 → 「すべてのプログラム」の「アクセサリ」の中 ”

” Windows 8.1 → 「すべてのプログラム」の中 ”

に入っています。

利用頻度が高く、毎回「Windows アクセサリ」から開くのは、ちょっと面倒だなあと思われる場合は、デスクトップやタスクバーにメモ帳のアイコンを表示（ピン止め）させることができます。（右クリックで）